



月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

2020

7

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	9
■例月句会結果■	
おかげょうき川柳社 6月誌上句会	19
川柳吟行会「ぼ」	26
十和田たてがみ川柳会5月句会報	24
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	8
Infomation	30～

カンテラ

むしり

突然ですが、当柳社が主催する句会・大会等について、投句方法などを次のように変更することになりました。

●本社会について

本年11月句会まで「ステイホーム誌上句会」とします。12月は「川柳忘年会」をこれまで同様に開催し、来年1月からは以前のように会員が会場へ集まる句会にする予定です。

●投句の方法について

8月からの投句は、オンラインによる受け付けだけになります。「ステイホーム誌上句会」「例月句会」、会員雑詠集「無人駅」、誌上句会「0番線」、「杉野十佐一賞」

など全てです。郵送及びFAXでの受付はなくなります。

投句は①当柳社公式ホームページから行うか②moriko@kajoki.comへ送信するかの2通りになります。

②の場合、住所、名前(本名、柳号)電話番号をお忘れなく。

●投句の締切時刻について

「ステイホーム誌上句会」「例月句会」会員雑詠集「無人駅」誌上句会「0番線」の投句締切は、それぞれ締め切り日の午後3時とします。それ以降は受け付けできません。

諸般の事情によりこのようになりましたので、皆様のご理解ご協力をお願いします。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

飛沫感染オホーツク海高気圧	鳴海賢治
きらきらと異物混入して夜明け	吉田吹喜
改悪は改正だったことがある	安藤なみ
旅したしゆさゆさ揺れる八重桜	吉見恵子
嫌われぬよう不幸そうにしてよう	旅 男
お帰りと風に言われた気がしたが	柳谷たかお
かさぶたの取れる頃だね濃紫陽花	熊谷冬鼓
ポイントを使う女の曲がり角	ひとは
携帯を閉じれば気づく息づかい	辻井洋子

辻井洋子さん、「携帯を閉じれば」って、きつとガラケーを使っているんだね。むさしもガラケー愛好者です。だって、二つ折りのガラケーをボタンと閉じれば「息づかい」が聞こえて来るんだもの…(笑)

B群

おしゃべりが止まらないのはザルのせい	まみどり
解雇通告されてロボット脱ぎ捨てる	三浦蒼鬼
追伸は水が流れているばかり	ひとり静
安置所に右のスリッパだけ残る	月波与生
小面の裏側埃舞う国家	須藤しんのすけ
つけまつ毛はさくらさくらのハッシュユタゲ	きさらぎ彼句吾
粉砂糖いっぱいもっていた女	勘右衛門
戦列を抜けてオムツを替えに行く	斎藤泰子

斎藤泰子さん、この「オムツ」って誰のオムツですか？赤ちゃん？お爺ちゃん？お婆ちゃん？うーむ、どうも違うような気がするなあ…。あ、そうだ！たぶん、自分の「オムツ」で、働くのをやめて人生の最終章に突入することじゃない？違うかな…。

Ｃ群

国境に寝転がつてる石地藏	小野五郎
生まれたら生まれた色を言いなさい	田久保亜蘭
花びらをひっくり返すと泥だらけ	夏草ふぶき
ノーマクサラマンダー消滅が熟す	奈良一艘
あちらから鍔釜の蓋持ち帰る	守田啓子

小野五郎さん、「国境」とは大きく出ましたね。(五郎さんにしては大したことないかも…)ところで、日本の国境って陸地がありましたっけ？全部海じゃない？(勉強不足でよく分からないけど、たぶんそうだと信じている…)とすれば、この「石地藏」はどこかの海の上に浮かびながら「寝転がつてる」はず。石の地藏さん、海に浮くかな。それとも、海中にゴロンといる？それとも、外国旅行でもしてるかな…。ま、いつかあ。地藏さんは、密入国者がいないか寝転がりながら見張っているのです。

田久保亜蘭さん、「生まれた色」ってみんな「赤」じゃ

ダー」か…。漢字で書くと「惱幕沙羅曼荼壺」だなんてことないよね。というところで広辞苑を引きました、が、出てない…。やむを得ずネット検索。ウィキペディアに、不動明王の真言だと書いてあった。「ノウマクサンマンダバサラダンセンダンマカロシヤダソハタヤウンタラタカンマン」(すべての諸金剛に礼拝する。怒れる憤怒尊よ、碎破せよ。フーン、トラット、ハーン、マーン。)とありました。あつたけど、よく解りません(汗汗)で、句は次に「消滅が熟す」と来る。こっちは少し解りそうだけど、あれ？「消滅」って「熟す」ものだったの？こんなこと考えていたら、いつまで経っても何にも解らないような気がしてきた…。要するに一艘さんは、新型コロナウイルスの感染拡大をとてつもなく怒っているのだ。このままじゃ世界は消滅してしまっ！…ってね。違う？

守田啓子さんは、「鍔釜(つばがま)」でご飯炊いてるのかな？もしかしたら、守田家のマンションには竈(か

ないの？だって「赤ちゃん」とか「赤ん坊」て言うじゃん(笑)あれ？違う？「生まれた色」だから、生まれたときにどんな色をしていたかとは違うの？(汗)では、「私は青森で4月に生まれたので桜色です」と宣言すればどうですか？あ、これもだめ？うう…、ややこしい。でも、この句いい。

夏草ふぶきさん、「花びらをひっくり返す」ってどういうこと？「裏返す」とは違うの？むさし流だと「花びらを裏返したら泥だらけ」なんだけど…。ということ、広辞苑第七版で「ひっくり返す」を調べた。そうしたら①上下・表裏・前後などの関係を逆にする。さかさまにする。②③省略』って出た。「裏返す」でも「ひっくり返す」でもどっちでもいいんだね。(何だか小学生みたい…)ということ、美しい花びらの裏は泥だらけなのです。これって、美女のことを言ってるの？

奈良一艘さん、よくこう次から次と不思議な言葉を使った句が作れますね(汗)今度は「ノーマクサラマン(まど)がある？」「竈」は『土・石・煉瓦・鉄またはコンクリートなどで築き、その上に鍋・釜などをかけ、その下で火を焚き煮炊きするようにした設備。』(広辞苑第七版)それで、この「あちら」ってどちらだろう？この世ならぬあの世って感じがするけど、違うよね。啓子さん、現在3箇所に拠点があつて移動しながら生活しているんだよね。で、そのいずれにも竈と「鍔釜」があるんだけど「鍔釜の蓋」は一つしかない。だから「鍔釜の蓋」と一緒に移動することかも…。あの分厚い蓋じゃないと美味しいご飯が炊けないし、あれってコンビ二とかスーパーでは売っていないすごいモノだからね。それにしても「鍔釜の蓋」って超具体的で、とんでもなく存在感があるな…。待てよ、この「鍔釜の蓋」って比喩だよな…。ノートパソコンのことじゃなごよな…。(か)ち(か)ち(か)

深艘心理

さらわれて奈落たまゆら万華鏡

吉田州花

(月刊おかしようき 5の月合併号)

作者はさらわれたとの表現をまず上五に持ってきた。と言うことは相手は間違いなく男性。女性てえーのは特に被害者意識の中で生きている植物？動物？生物？なのだと言長の経験で分かっています。ってこれセクハラ？

まあ、まあ、まあ聞かなかったことにしてくださいね。それも心にくし男性（つまり奥ゆかしくて上品で心惹かれる男性）と一緒に暮らし始めた。そして二人の間に何があったのかは知らないが奈落の底へと落ちるような事があったのだらう。相手が先に黄泉の国へ行ったのかも

しれないし：だけど、たまゆら（ほんの少しの間）作者はまるで万華鏡を見るように不思議な感覚の世界を彷徨っていたのだ。それも愛という万華鏡のなかで：。

もしかすれば今もまだ作者は万華鏡の中を彷徨っているのかもしれない忘れられない存在を未だに胸のどこかで抱きしめているのかもしれない。

掲句に越路吹雪の歌う「愛の賛歌」がまだワンと響いているのだとしたら切ない。

おかしようき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅6月月間賞

シャープして春を呼んでる二月の「ラ」

辻井洋子

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

パピルスに写す草書の既往歴
ブラウスのボタン檸檬の音がする
バス停に並ぶ演劇部の衣装
小面の裏側埃舞う国家
キレそうな顔文字誰か助けてよ

先月号のお気に入り



田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

一人では九人までは芽がでます
流転、流転ブレーキのない三輪車
生まれたら生まれた色を言いなさい
中心がぶれたままならず嫁ぐ
沈まない夕陽みている日本海

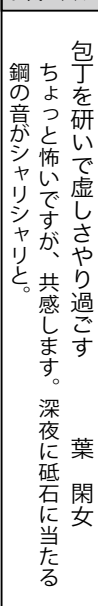
先月号のお気に入り



旅男【たびお・青森県五所川原市】

手を入れて発酵させる 好きの壺
アレもコレも大人のぬり絵です所詮
嫌われぬよう不幸そうにしてよう
紐のない犬にて空が恋しくて
焦げ付いた信仰心が砂を吐く

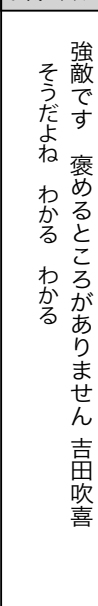
先月号のお気に入り



田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

ラーララさあ髪を染めステイホーム
満月にアカペラを星にハミング
月の満ち欠けですが如何(どう)♡アルタイル
押しても引いても開かないドア1つ
無無無無で堅焼き煎餅食す午後

先月号のお気に入り



月波与生【つきなみよじょう・宮城県仙台市】

門火焚くずつと手ぶらで生きてきた
スコッチを飲むには浅い落とし穴
球根の重さで増してくる浮力
蓮葉女を覗く運命論者たち
安置所に右のスリッパだけ残る

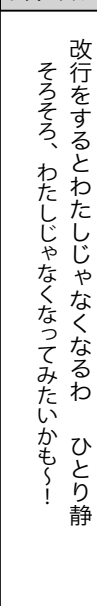
先月号のお気に入り



土田雅子【つちたまさこ・青森県青森市】

コロナ禍が育ててくれるうちごはん
ここで出すのか日本の鈍感力
息潜めコロナ警察やり過ぎす
わたくしの当たり前の日常って？
幸せの指数Ⅱ求め過ぎぬこと

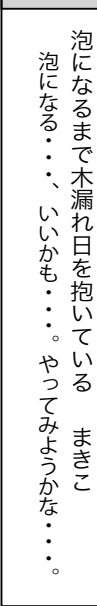
先月号のお気に入り



辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

いい訳のてっぺんあたりが焦げ臭い
レモンには負けてはいない五月晴れ
童話読むブランコ揺れる瞬間がある
チャージャーのおまけに続く幸福論
携帯を閉じれば気づく息づかい

先月号のお気に入り



夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

花びらをひっくり返すと泥だらけ
目の前のオニオンリングが騒いでる
荷が重く未来に行けぬタケコプター
三途の川気づかぬうちに渡ってた
保存食から漏れ出している笑い声

先月号のお気に入り



奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

国道方面には臭い付きのマスク
ソース派やったのか君は
血糖値がどーした！一律一万円給付
梅は咲いたか欽ちゃん走りしてみたか
ノーマクサラマンダー消滅が熟す

先月号のお気に入り
謀殺のうなじにつけるシアバター
むさし謀殺計画なら乗ってみましょうか…(小次郎)
守田啓子

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

コロナ続いて子育ては終わらない
断捨離はせぬ駆けつこもするでない
飛沫感染オホーツク海高気圧
弱者救済ミツバチの羽音かな
人生一〇〇年マスクが落ちてている

先月号のお気に入り
階下には春が屈いているようだ
この不確かさが想いを広げてくれました。
斎藤泰子

まぎょ【まぎょ・青森県青森市】

抵抗はしないよちよち歩くだけ
ふたりして老いた老いたと笑い合う
正解があちらこちらに落ちている
ときめきは過去穏やかな月の色
夕陽一個差し上げますという女

先月号のお気に入り
万策は尽きていつもの居酒屋へ
大いに盛り上がりましょう。お仲間に入れてね。
土田雅子

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

言い訳は聞き飽きました泡立て器
おしゃべりが止まらないのはザルのせい
まの文字にぶら下がっているのは誰
すりこぎもフライ返しも黙秘権
解決に一役買った卵とじ

先月号のお気に入り
ふりかけの最後のような終わり方
そんな別れがあったかも……。
米山明日歌

ひとは【ひとは・青森県黒石市】

ポイントを使う女の曲がり角
自分らしい音を探して迷子です
不要不急ムズムズしてる足の裏
過包装されてあなたが逢いに来る
とろとろと夜を煮込んでまた不眠

先月号のお気に入り

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山田市】

もう春を放つたらかしにしているの
草を抜く蝶々と見つめ合いながら
追伸は水が流れているばかり
らしくないことをしようか駅ピアノ
わかっではもらえぬ声をその声を

先月号のお気に入り
好奇心で括れば風もやわらかい
気持ちの持ちようなんですわ。
葉 閑女

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

社会的距離で際どい息を吐く
解雇通告されてロボット脱ぎ捨てる
無観客ですが無防備にはならぬ
肩の骨外して小銭数えてる
臆病なヒトと相性いいらしい

先月号のお気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

もうお引き取り願いたいコロナ様
十分休んだ コロナ倒産やって来る
おーい風ウイルスなんて吹き飛ばしてよ
少しづつ記憶の欠片落ちてゆく
教養のない老人が引き籠る

先月号のお気に入り
コノ空モアイツノ空モ別ノ空須藤しんのすけ
私ノ空モキット違ウヨネ

村上てる

【むらかみてる・青森県青森市】

推敲をかさね消しゴム丸くなる
年重ね喪服を着る日の多きこと
生きて来た土壌はやつぱり父母でした
武漢から羽虫のようにセキがとぶ
無料ですビタミンDの日光浴

先月号の
お気に入り

有りすぎても無すぎても困る暇 まみどり
まさに同感です。日常の事もいろいろ作句でたのしいです。

守田啓子

【もりたけいこ・青森県青森市】

エアーマット意味のないことなんてない
二度付けの禁止 リンゴの花が咲く
九条を守る守れば六条麦茶
あちらから鍔釜の蓋持ち帰る
私ですか雨の形をしますか

先月号の
お気に入り

山ほどの△積んで君が来る 辻井洋子
☒でなくてよかったよかった

柳谷たかお

【やなぎやたかお・青森県外ヶ浜町】

幾万の嘆きを乗せて東風来る
お帰りと風に言われた気がしたが
いらつしやいどこで生まれた風ですか
星見える扉は閉じたことが無い
祭り消え空青さ増し深さ増し

先月号の
お気に入り

葉閑女

【ようかんによ・青森県青森市】

徘徊です散歩などではありません
待つことに慣れてしまった花時計
揺り戻しが怖い七夕ダイエツト
骨柄はさておき笑い上戸です
切なさを独り占めして聴くポレロ

先月号の
お気に入り

部活から帰ってきたら亀になる 田久保亜蘭
そして竜宮城へ連れていってくれる。

吉田州花

【よしだしゅうか・青森県青森市】

衣食住あつて足りないものひとつ
満ち足りてマスクどつきり縫う時間
久しぶりハグは禁止のお客さま
桜散つたしおうちごはんに飽きました
知ったかぶりの外食つぱいお献立

先月号の
お気に入り

添加したのは嘘というキラキラ きさらぎ彼句吾
今も昔もそのキラキラが大好きで。

吉田吹喜

【よしだふぶき・青森県弘前市】

芽が出ないほうが普通だ でもでもだ
きょうだけは分かち合いたくない孤独
「たかが」って泣いて笑って吠えている
好奇心ぶんぶんぶんと揺さぶって
きらきらと異物混入して夜明け

先月号の
お気に入り

マスク着けはじめましての顔になる まみどり
5月の連休中マスク製作にはまり、それからずーっとは
まりっぱなしです。

吉見恵子

【よしみけいこ・青森県青森市】

赤短の桜めくれれば散るさくら
春速し くもの馬脚の大跨ぎ
旅したしゆきゆき揺れる八重桜
膝を抱くひとへ絵はがき花束の
呼ばれても返事はしない今は猫

先月号の
お気に入り

米山明日歌

【よねやますか・静岡県長泉町】

指先は春を含んでしなやかに
夢のまた夢で目覚める水の中
だいたいはいつも通りでいい私
約束には向かない 短い小指
身の丈にあつたオールじや行けぬ島

先月号の
お気に入り

雪どけの首から下をもてあます まみどり
私は一年中、首から下をもてあましています。

安藤なみ

【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

テイコウは囚人服が良く似合う
改悪は改正だったことがある
アマゾンの火災ピラニア香ばしい
くねくねくねる能面のほうれい線
割烹着姿は無敵でなくなった

先月号の
お気に入り

石橋芳山

【いしばしほうざん・島根県松江市】

ババロアの笑いか揺れが止まらない
町中はトーテムポールの死体
4コーナー曲がりリズムはボヘミアン
ぐうたらで斜めでえげつなくネジレ
やや謀反温めているさざれ石

先月号の
お気に入り

失くした夕日が落ちている古本屋 土田雅子
古本屋 懐かしい言葉です。

岩根彰子

【いわねあきこ・京都府京都市】

カステラの際溢れ出すエーゲ海
東雲や蛞蝓の頭ひとつ分
どうしたどうした卵白のじくじく
隣の紫蘇氏からライン
3色ボールペンの腓返り癖ぞ

先月号の
お気に入り

半地下の蓋は半分だけ開く 田久保亜蘭
は行で見事に出来上がった作中と感服しました。

小野五郎

【おのごろう・青森県青森市】

選ばれて後期高齢になりました
銀河鉄道もうひとり乗せてくれ
国境に寝転がつてる石地藏
私という基礎疾患を持つている
人別帳にヒコーキ雲の跡がある

先月号の
お気に入り

勘右衛門

【かんえもん・神奈川県横浜市】

粉砂糖いっぱいもつていた女
老いたので今日虫籠に入ります
ホモサピエンス類稀なるさじ加減
ろくでなし句読点なきラブレター
嫌だ嫌だ反り返ってる明朝体

先月号の
お気に入り

そろりそろり見えない音を編んでいる 熊谷冬鼓
色々と気を使って編む。大変だけどその音はいつたいた
んな形に編み上がるのか…興味津々。

きさらぎ彼句吾

【きさらぎあきあ・青森県弘前市】

つけまつ毛はさくらさくらのハッシュユタグ
すっぽかされ褪せた薔薇色のつぼみ
経費で落とすにはマジ過ぎるルージユ
火の絶え間ない肉体という囚獄
空き部屋がひっそり増える女編

先月号の
お気に入り

棘抜けて春の小川になっている 渡邊こあき
何かを誰かを赦すって、自分を赦すってことだね…

熊谷冬鼓

【くまがいとうこ・青森県青森市】

本閉じる だあれも約束してくれぬ
かさぶたの取れる頃だね濃紫陽花
藤棚は決して秘密を明かさない
返信は不要 白い山吹咲きました
穏やかでいようだなんて猫じやらし

先月号の
お気に入り

三センチ伸びた淋しさ卵割る 米山明日歌
淋しさは長さで表せるんですな

斎藤泰子

【さいとうたいこ・秋田県大館市】

戦列を抜けてオムツを替えに行く
おそろおそろ春から初夏へ移動する
みんな逝くそれでいいのねおつきさま
波風を鎮めてわたし消えちゃった
面白味無いわたしにも夏が来る

先月号の
お気に入り

どこまでの家族葬どこまでが家族 渡邊こあき
ほんとうに。子が結婚すると親はもう家族ではなく親族
というのだそうですが、そうなんですかねえ…

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

パンデミックがニューヨークの貌つぶす
感染を封じ込めたら辞任する
誕生日のドレスコードはラルラリラ
万札で感染防ぐ祈禱する
失業間近外出控え断食中

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

なんだかなあ　なんだかなあ　って死んでいく
また今日もオトコ検査は陰性で
正義の環状線が渋滞しまくってる
右の金正恩の目が二重
なんでかなあ　なんでかなあ　って生きている

先月号のお気に入り

先月号のお気に入り

オリジナル呪文ですので内密に
リアルに持ってそう…(笑)

吉田州花

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

諦めたい時に見つかる打開策
落ちこんでばかり何にもしていない
知らないのですかに腹を立てている
知らないと言える勇気があつたなら
とりあえず今は自分を守ること

むさし【むさし・青森県蓬田村】

風騒ぐ記憶の中の蟻の村
トランプと習近平を見てる猫
パンデミックを人力飛行機で渡る
ウィッグを外してマスクをつけますか
地獄絵の中だ　逆立ちしてみよう

先月号のお気に入り

アヒージョがしょう油顔って知ってるか　夏草ふぶき
アヒージョを食べた時、正直イマイチでした。多分私も
しょう油顔？



家にいよう

▼投句者 (50名)

小野五郎 (青森県)	月波与生 (宮城県)
きさらぎ彼句吾 (青森県)	田久保亜蘭 (秋田県)
坂本清乃 (青森県)	一帆 (秋田県)
須藤しんのすけ (青森県)	いなだ豆乃助 (埼玉県)
奈良一艘 (青森県)	かんえもん (神奈川県)
ひとは (青森県)	雪上牡丹餅 (神奈川県)
まきこ (青森県)	西沢葉火 (長野県)
まみどり (青森県)	米山明日歌 (静岡県)
むさし (青森県)	三好光明 (愛知県)
守田啓子 (青森県)	木口雅裕 (京都府)
渡邊こあき (青森県)	岩根彰子 (京都府)
夏草ふぶき (青森県)	岸井ふさ糸 (大阪府)
吉田吹喜 (青森県)	宮井いずみ (大阪府)
熊谷冬鼓 (青森県)	寺川弘一 (大阪府)
笹田かなえ (青森県)	峯島 妙 (大阪府)
笹田隆志 (青森県)	柳本恵子 (奈良県)
三浦蒼鬼 (青森県)	斉尾くにこ (鳥取県)
滋野さち (青森県)	石橋芳山 (島根県)
村上あつこ (青森県)	山崎三千代 (岡山県)
田中薫 (青森県)	藤井智史 (岡山県)
土田雅子 (青森県)	徳長 怜 (徳島県)
徳田 寛 (青森県)	村山浩吉 (愛媛県)
鳴海賢治 (青森県)	吉松澄子 (愛媛県)
葉 閑女 (青森県)	麦乃 (佐賀県)
旅男 (青森県)	
中村暁代 (岩手県)	

宿題『支』

青森県黒石市 まみどり選

【佳作】

あつぷつぶ笑顔で支えあう二人
 支援者の入荷待ちです道の駅
 待つほどに女の支度玉手箱
 貴方だけ支える女だった頃
 添え木です52年になりました
 スカスカな支柱でどうもすみません
 バツカスの微笑受けてから下僕
 当てもなく支流で桃を待つて居る
 私に淡く流れるアダムの血
 どの辺を支えますかと冷たい手
 ミッションは支離滅裂の尻拭い
 ギンギシと音を立ててる屋台骨
 ごま塩をふって後方支援する
 ラーメンの割り箸パートナーのつもり
 収支決算傷も負ったが実もたわわ

吉田吹喜
 三好光明
 旅 男
 柳本恵子
 鳴海賢治
 藤井智史
 石橋芳山
 寺川弘一
 一 帆
 ひとは
 木口雅裕
 村上あつこ
 石橋芳山
 笹田かなえ
 きさらぎ彼句吾

辛抱が足りぬと鎧を責める
 逆立ちで天地支えている論理
 音消してつかまり立ちの蠅でいる
 気がつけば添え木増やして生きている
 ミントマト支柱を嫌い歩きだす

月波与生
 寺川弘一
 土田雅子
 渡邊こあき
 夏草ふぶぎ

【五客】

映画館をポップコーンが支えてた
 軸足が欲しがっている象の足
 給付金に付いてた棘は見ましたか
 外された梯子に未練ありません
 愚痴を聞くことも人道支援です

村山浩吉
 夏草ふぶぎ
 奈良一艘
 熊谷冬鼓
 斉尾くにこ

【人位】

そのあとの虹の支度はできている

米山明日歌

【地位】

支えても支えてもまだ水のまま

ひとは

【天位】

てにをはは引き立て役でいてくれた

きさらぎ彼句吾

◆唐突だが、若い、素敵だと言われればお世辞とわかっていても嬉しいもの。しかし、今日とは今日では気持ちの持ち方が変わる。突つかかっついていきそうな会話でも助詞の使い方ひとつで和むものだ◆ずっと前から支えてきたつもりだが、思うような芳しい結果が見えない。自分の無力さを痛感するかもしれない◆流されたり淀んだりしても投げやりになって諦めてはいけない。きつと別の誰かがヒントを出してくれるに違いない◆そしてそれは虹以上のものを生んでくれることだろう。

宿題『知る』

愛媛県 吉松澄子選

【佳作】

知っている桃はどこから齧るのか
 未知との遭遇ソーシャルディスタンス
 知らないと言われた嫌いと聞こえた
 一線をどこに引くのか知りたくて
 懐かしいデジャヴ柵田の青い風
 サボテンの花が咲く日が死ぬ日です
 密通やぐんぐん伸びる万華鏡
 出生の秘密を知ったカレーパン
 かさぶたを剥がして罪の色を知る
 知りたくないのは夕立の言い訳
 知ることの怖さ判決は有罪
 初めての夏の暑さを知る仔ねこ
 AIは酒に弱いと聞いている
 難しいパズルだったね私たち
 重病説にほだされ沖に流される

米山明日歌
 笹田かなえ
 峯島 妙
 村山浩吉
 宮井いずみ
 守田啓子
 岩根彰子
 西沢葉火
 木口雅裕
 峯島 妙
 石橋芳山
 笹田かなえ
 小野五郎
 吉田吹喜
 鳴海賢治

ピリオドに色があるって知ってるか

須藤しんのすけ

最初から風だと知っていたあなた

米山明日歌

私には知る権利などありません

石橋芳山

認知療法的カルピスの甘さ

月波与生

ハグすると沼だとわかる戸籍謄本

守田啓子

【五客】

声に出し読みたい青を知っている

徳長 伶

非通知設定したままで焼くイカの足

徳田 寛

メダカが死ぬと闇が光るんだつてさ

夏草ふぶぎ

花冷えが教えてくれたグッドバイ

まみどり

パチンコ屋の二軒隣にあんみつ屋

奈良一艘

【人位】

ストッキングのほつれを知った通り雨

村山浩吉

知りすぎてハコベタンポポナズナです

ひとは

【地位】

空青く一家全員認知症

むさし

いつもとは違うこの頃をいつものように川柳を遊べたりいいなあと思っています。

「知る」は広がりがあり、面白い作品がたくさんありました。ありがとうございました。「人」通り雨には遭うし、ストッキングは変になるし・・・鮮やかな表現がいい。「地」知りすぎてわからなくなったのでしょうか。軽やかに遊びごころが感じられます。「天」「空青く」がよく効いています。なんともいえない不思議な明るさ。この感性が素敵です。

宿題『自由詠』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

【佳作】

遣隋使が火事場泥棒捕まえる	笹田隆志
言い訳を呑み込む夕焼けのお馬鹿	まみどり
騙しやすい夜の扁桃腺をみる	月波与生
くるぶしがパキン今日はもうおしまい	峯島 妙
山桜きみも外野が指定席	斉尾くにこ
空色のウクレレを抱く夏の運び屋	須藤しんのすけ
六月の満月なんかロクデナシ	む さ し
ケモノ道探しています舌の先	三浦蒼鬼
五月晴れマスクにこもるひとりごと	渡邊こあき
スースーする方が勝ち組の視線	きさらぎ彼句吾
QRコードに埋める写楽の目	む さ し
レプリカにしておく今日のわだかまり	ま き こ
淋しいのか文字化けばかりしてしまふ	柳本恵子
捨捨捨捨捨過去もあなたも何もかも	柳本恵子
股間から出て行ったのはアルペジオ	岸井ふさゑ

スワイプで軽く地獄へ送られる	徳長 怜
三つ編みにすれば明るい空です	吉松澄子
Tシャツのタグに絡まる空の恥部	須藤しんのすけ
炭酸が抜けたような自分も好き	田 中 薫
現実のすこし斜めに月はでる	米山明日歌

【五客】

ンゴロンゴロ夜の出口が分からない	石橋芳山
あいみよんのスツピン絵日記に残す	須藤しんのすけ
なまくらな包丁だから痛くつて	宮井いずみ
一字ズレおこしたような下半身	徳長 怜
グラノーラから過去問を拾い出す	徳長 怜

【人位】

背もたれとバナナの長さ比べてる	まみどり
-----------------	------

【地位】

やわやわと父のふぐりを踏んできた	奈良一艘
------------------	------

【天位】

今更を詰め込んでいるDカップ	米山明日歌
----------------	-------

◆なぜかしら、私が選者の回になると、とたんとなネタの作品の投句が多いように感じる…。私は、決してそんな作品を上位に取るような人間ではない！（笑）「天位」この作品に女性版「老人」を見た。結婚して、子供も成長し手を離れてしまった日の夕方。出掛ける準備で、ルーティンのように寄せては詰める作業は、女でありたいと思う気持ちと今更という切なさをそこに感じる◆

十和田たてがみ川柳会5月誌上旬会

【投句者】磯島雅男・漆館ミノリ・木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・佐藤まさあき・城後朱美・瀧尻善英・福田芳詔・村上昌子・高田幸柳

■課題 『べとべと』 久保あざみ 選

【平抜き】
 べとべとと俺に着くなよコロナ菌 斉藤 蛙井
 カップルへ自粛警察容赦なし 高田 幸柳
 アツアツの夫婦だけれど距離を置き 高田 幸柳
 べとべとと愚痴だけ走る筆の先 斉藤 蛙井
 ガムテープ失敗の数見せつける 漆館ミノリ
 べとべとの糊にも負けぬど根性 木村奈生美
 答弁は影の手ベタベタ背に付けて 村上 昌子
 納豆の粘りを越える子になれば 木村奈生美
 ポケットで忘れられてたチョコが泣く 瀧尻 善英
 老化してとじてた輪ゴム溶けていた 福田 芳詔
 べとべとと張り付く汗も心地よい 斉藤 蛙井

べとべとの泥かき分けて来る救助 瀧尻 善英

【秀逸】
 田畑でのべとべと不要不急なし 村上 昌子
 べとべとの泥んこ遊びこねる夢 高田 幸柳

【特選】
 べとべとの襷をゴールまで繋ぐ 瀧尻 善英

■課題 『平和』 斉藤 蛙井 選

【平抜き】
 あく夫婦平和の道は遠からじ 城後 朱美
 長崎の鐘の響きは永久に 佐藤まさあき
 一匹の蠅で平和が乱される 磯島 雅男
 戦争を知らぬ若者平和ボケ 佐藤まさあき
 哲さんが蒔いた荒地がいま芽吹く 瀧尻 善英
 子の戦死世界の母は望まない 漆館ミノリ
 食べて寝て川柳詠んで恙ない 瀧尻 善英
 無事平和だった一日有り難う 木村奈生美
 朝が来てごはんを食べている平和 城後 朱美
 家の中取りなすタマがニヤアと鳴き 村上 昌子

団らんの夕餉にいつもある平和 高田 幸柳
 母の日は花束そつと置く平和 磯島 雅男

【秀逸】
 愛犬のココロを呼んでハイタッチ 久保あざみ
 コロナ禍で普通が幸と気づかされ 高田 幸柳

【特選】
 何も無い一日という平和な日 瀧尻 善英

■課題 『返事』 瀧尻 善英 選

【平抜き】
 返事来ぬ空へ心が返事かく 村上 昌子
 人により変わる返事のお辞儀草 磯島 雅男
 どこへ行ったかわずか2音の返事はい 福田 芳詔
 前書が長くて本音チョツと副え 斉藤 蛙井
 安倍総理国民守らず友守る 久保あざみ
 プロポーズ二つ返事といかぬもの 佐藤まさあき
 挨拶と返事が出来て人となる 漆館ミノリ
 スマホからスマホへ繋ぎ出す返事 木村奈生美
 居眠りのテレビの声に反応し 高田 幸柳

妻の愚痴聞いている夫の生返事 城後 朱美
 大声の返事戦の顔になる 木村奈生美
 教室に返事が響く一年生 佐藤まさあき

【秀逸】
 昔から返事だけはと褒められる 高田 幸柳
 生返事して動いているスマホの手 佐藤まさあき

【特選】
 良い返事心の底を響かせる 木村奈生美

十和田たてがみ川柳会7月誌上旬会

【課題】(各題三句詠)『窓』久保あざみ選／『まん中』
 斉藤蛙井選／『まとも』瀧尻善英選【投句先】〒034
 0212 十和田市大字米田字桜平72 高田幸柳【締切】7
 月19日(日)までにご投函ください。

川柳吟行会「ぽ」

5月句会

熊谷冬鼓

今回の課題は「木」。13名から集まった39句を各自3句ずつ選び、コメントを寄せてもらった。吟行に向くのも句会をするにもまだ制約があり、今年は11月まで課題吟にすることにした。

【7点】特×2・佳×3

挿し木接ぎ木添え木私は生き延びる 土田雅子

【こあき】どんな手段を使つても生き延びるという迫力に、ノックアウトされました。【与生】生きる執念が感じられていい。挿し木も接ぎ木も添え木も独りではできないわけで生き延びることは他者との共生であるというメッセージもある。【恵子】作り方はともかく、生きる執念を感じた。【文音】木は人間の術で生かされてい

るんですね。でもポキッと折れてもいいと思わない？【啓子】こんなにサポーターがいるなら、頑張つて生きますか。

【6点】特×2・佳×2

木のベンチよろづのことの相談所 笹田かなえ

【恵子】ベンチには、様々なシチュエーションですわるが、その場所を「相談所」としたところが良い。【さち】ハス停に養護学校の生徒手作りのベンチがある。座っているだけで光が差し込んでなんでも話せそうな暖かい気持ちになってくる。【こあき】座つたら、即難題解決のベンチ！合浦公園に置いてくれませんか。【与生】中七の古語「よろづのこと」が良い。深刻な話もよろづのこと。

【4点】特×1・佳×2

母さんを産み付けていく檸檬の木 岩根彰子

【隆志】檸檬の木に母さんを産み付けるという発想が面白い。甘酸っぱい香りが漂ってきます。【かなえ】「いく」かな？でも、個性的な切なさ。【五郎】生命のサイクルを角度を変えてみせている。独創的である。

【4点】特×1・佳×2

3丁目の洗濯板とお茶を飲む 守田啓子

【冬鼓】情景だけなのが心もとないが、映画「3丁目の夕日」と洗濯板に昭和のレトロ感。卓袱台も見える。舞台設定の作り方が上手い。【麦乃】なんとなく可笑しい。【彰子】洗濯板にリアリティーがあります。

【3点】特×1・佳×1

一本の木になってゆく風よ吹け 麦乃

【文音】余計な修飾がなく一本の木の立ち姿に自分を重ねた佳い句だと思います。私としては、吹けよ風と体言止めが好きです。【恵子】成長を詠んでいて、困難に負けまいとしている。

裸木が燃える兵士の匂いさせ 月波与生

【五郎】究極として赤肌裸体となって燃えあがる木の姿を鮮烈な映像に仕立て上げた。壮絶な人生ドラマ。【さち】宇宙軍のニュースにふと焼け焦げる臭いが・・

暗渠から山椒播り粉木解き放つ 岩根彰子

【かなえ】家の播粉木も山椒で時々行方不明になり、意外な場所で発見！はある。暗渠のモヤモヤ感と播粉木の取り合わせがいい。【冬鼓】しばらく出番のなかった播り粉木。山椒に大物感あり。

夕ぐれの椿が「ちょっと待ちなさい」 笹田かなえ

【啓子】「びくっ」夕ぐれの椿とは亡母だろうか・うまいなあ〜寒くなりました。【こあき】「はい、何の御用でしよう?」

【2点】特×1

新しき病の春を接ぎ木する

小野五郎

【彰子】接ぎ木が刺さりました。接ぎ木は人間の驕りと了解しました。

鉄塔はやがて樹になるひとりがたり

熊谷冬鼓

【麦乃】孤独を感じました。

梅の木に桃を望んだ罰ですか

滋野さち

【雅子】どんな罰を受けたのでしょうか。違う人生を夢見たって良いでしょうか?と言う作者の葛藤が伝わりました。

【かなえ】「木」から「木靴(サボ)」!に完敗。【五郎】虚飾をはなれた愚直とも言える木靴の形が目に見えなくてくる。

【1点】佳×1

雨の木に縊る五月のアフォリズム

月波与生

【隆志】梅雨にならないうちにアフォリズム(警句)を縊るといい。

次々と悩みを咲かす木瓜の花

渡邊こあき

【文音】木瓜の花は淡い色の他に赤・白など色数の多い花です。悩みの多い花なんだと納得。

木洩れ日の中にいいひといいひと

渡邊こあき

【さち】森の中に差し込んでくる光が明るく楽しい。

【2点】佳×2

さよならを言うフルートの木の下で

守田啓子

【麦乃】唯一理解できそうな句でした。きれい。【冬鼓】フルートの木とは詩的。別れには切ない音色か。

老木の倒れて起る青い空

福田文音

【雅子】死と引き替えに青空!そんな潔さが良いですね。【与生】「老木の」助詞をがでなくのにしたことで木の話から人間の話になった。

手持ちぶさは菜箸で突つつく

熊谷冬鼓

【彰子】菜箸が生き生きしている。【雅子】干からびた日常への開き直りが楽しい。

なにこともなかったような木靴ぬぐ

福田文音

ちゃぶ台とビデオ通話をする五月

守田啓子

【隆志】コロナ禍で外出自粛でテレワークしている様子がみえます。

2020 添え木増やして立っている

渡邊こあき

【啓子】コロナと書かず2020がいい。

7月の課題は「流」×切7月15日

8月の課題は「島」×切8月19日(第3水曜日)

投句先: toko@okajoki.com 熊谷冬鼓

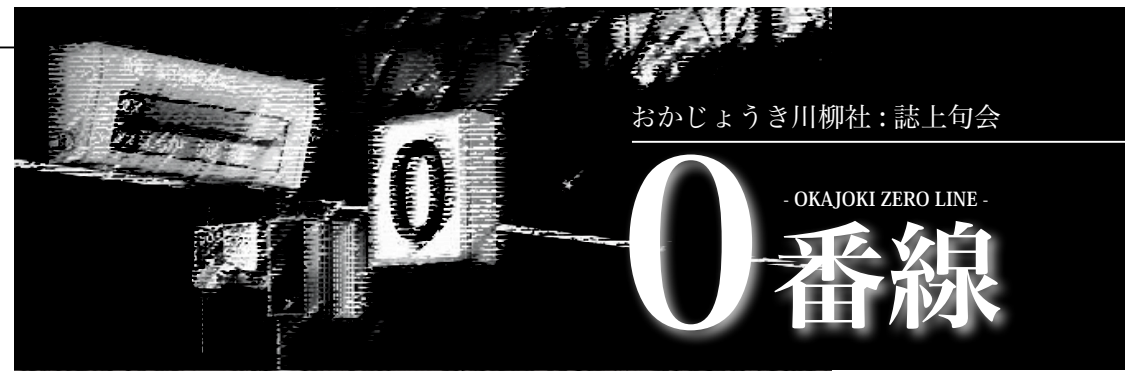
ご参加お待ちしております。

□ **2020.07.31** ✕ **第30回青森県民文化祭・文芸コンクール(川柳部門)**

【締切】令和2年7月31日(金)必着 【投稿先】〒038-1214 藤崎町大字常盤字四西田13の31 佐藤雅秀 TEL 090-8254-5561 【題】「雑詠」1人3句(ハガキに限る)(裏面は作品のみ記入) 【選者】内山孤遊・田鎖晴天・岩崎雪洲・佐藤ぶんじ・千島鉄男・田沢恒坊・八木田幸子・むさし・瀧尻善英・成田我楽 【参加料】無料(応募は1部門に限る) 【表彰】川柳知事賞1人・川柳準賞3人・川柳佳作賞10人 【入賞発表】10月上旬、県内新聞三紙での発表をもって入賞通知に代えさせていただきます。 【投稿】投稿作品はすべて自作・未発表であること。二重投稿は固くお断りします。同一作品、酷似作品があった場合、入選・入賞を辞退していただくことがあります。ハガキは表面に郵便番号、住所、氏名(必ずふりがなをつける。ペンネームの場合は本名も付記)、電話番号を記入のこと。 【表彰式】令和2年11月7日(土)青森市新町「アラスカ」TEL 017-723-2233 【入選作品集】希望者は84円切手5枚を同封し、〒030-0913 青森市東造道2の5の6 文芸コンクール実行委員会 千葉禮子宛 郵送で申し込むこと TEL 090-6781-7422

□ **2020.10.31** ✕ **すずむし全国誌上川柳大会**

【課題】「道」(二句詠で一口)(字結び・詠み込み可) 【選者】(15名共選)岡崎守(北海道)・千島鉄男(青森)・熊谷岳朗(岩手)・伊東マコ(山形)・鎌田京子(宮城)・横村華乱(福島)・篠田東星(栃木)・島田駱舟(千葉)・安藤紀楽(東京)・荒川八洲雄(愛知)・小島蘭幸(広島)・高畑俊正(愛媛)・平田朝子(熊本)・浅利猪一郎(秋田)・渡辺松風(秋田) 【投句料】1,000円で一口(郵便小為替または現金)(何口でも可) 【投句用紙】所定用紙、便箋用紙、原稿用紙。作品・住所・氏名(雅号)・本名・郵便番号・電話番号を明記してください*参加者全員に参加賞を進呈します 【賞】大賞(1名)入選句入ブロンズ像・すずむし誌12ヶ月分・あきたこまち20キロ/準賞(2名)入賞句入ブロンズ像・すずむし誌6ヶ月分・あきたこまち10キロ/4~10位-すずむし誌6ヶ月分・あきたこまち5キロ/11~20位-すずむし誌3ヶ月分あきたこまち3キロ/21~50位-すずむし誌3ヶ月分 【採点】前抜(100句)1点/十秀2点/三才3点 【締切】令和2年10月31日(消印有効) 【発表】令和2年「川柳すずむし」誌12月号(12月22日頃) 【投句及び問合せ先】〒018-1724 秋田県南秋田郡五城目町東磯ノ目1丁目7-11 湖東印刷所内 すずむし全国誌上川柳大会係 宛 Tel018-852-2430 Fax018-855-1055 【主催】川柳すずむし吟社



課題と選者(2句詠・共選)

題：『**的**』

7/31 ✕ **切**

選者

ながたまみ (神奈川県)

須藤しんのすけ

(青森県・おかじょうき川柳社)

投句方法

郵送・FAX・インターネットのいずれかからお選び下さい。
 <投句先>
 郵送：〒030-0861 青森市長島4-23-4-102 守田啓子宛
 FAX：017-723-5696
 ネット：<http://www.okajoki.com/toku/0line.html>

投句料

1,000円(発表誌呈) ※発表誌の送付をもって、受領したものとさせていただきます。

※おかじょうき川柳社会員は無料です。

- ◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社
- ◆郵送先：〒030-0861 青森市長島4-23-4-102 守田啓子宛

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

■会費拝受【5月受付分】

大澤香（青森市） / 工藤比呂美（外ヶ浜町） / かんえもん（神奈川県）

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

〒030-0861 青森市長島 4-23-4-102 FAX.017-723-5696

--- 終着駅 Sin ---

◆東京アラートが解除されて2週間。予想通りというか、なんというか、新宿、池袋でのいわゆる夜の街関連でのクラスター発生である。ホストクラブも今は風俗嬢の客が多く、そこからの感染なのだろう◆ただ、よくよく考えてみると、約1,000万人弱の人口がある東京で一日100人とはいえ、確率で言えば、0.001%である。これは宝くじ1枚買って3等100万円が当たる確率と同じ。10枚買ったとするなら、2等1,000万円が当たる確率である。そしてさらに青森県内での感染確率は、1等7億円くらいの確率じゃないかと私は思っている。なので、感染者が出ていない地方は、あまり神経質になりすぎないほうがいい。かえって、他人の衛生意識に腹を立て

るようなストレスは、かえって自分の健康を害する◆一方、九州では特別警報が発せられるほどの大雨で、熊本では老人ホームの14名が心肺停止で亡くなった。避難先でのクラスターを懸念して、避難の判断が鈍ったのなら、あまりにも皮肉すぎる結果である◆コロナで亡くなる人。災害で亡くなる人。こんなニュースを目にするたびに、自分は何で死にたいかを自分に問いかける。また何で死にたくないのか、も。病気、災害、事故、自殺。死は誰にでも平等に訪れる。昔と比べて、この現代、長生きすることが果たして本当に幸せなことなのか微妙な時代でもある◆おかげょうき川柳社も11月まで誌上句会の予定だが、どこかで線引きが必要な時が来ると思う◆Sin

